

【ウェアラブルデバイスによるブロックチェーンに保存された 医療記録の取得】

Walmart

①要約：

このアイデアは、ウォルマートが急病などの緊急時に患者の医療情報を素早く取得するため、ブロックチェーン技術を活用する提案です。患者は体内に埋め込んだウェアラブルデバイスや生体情報を用いて暗号化された秘密鍵を利用し、救急車の到着時に自身の医療記録をブロックチェーン上から取得できるようになります。

②目的：

このアイデアの目的は、緊急時に患者の医療記録を迅速に取得することで、医療機関や救急隊が正確な情報を得て適切な医療行動を行えるようにすることです。また、ブロックチェーン技術を活用することでデータの改ざんを防ぎ、情報の信頼性を高めることも目指しています。

③新規性：

このアイデアの新規性は、急病患者が自身の医療記録を瞬時に取得できる手法として、ウェアラブルデバイスや生体情報を使用し、ブロックチェーンを介して安全・迅速にアクセスできる点にあります。

④独自性：

ウォルマートが普段のスーパーマーケット業務から医療分野へと事業領域を拡大し、緊急時の医療情報取得を支援する独自性があります。さらに、体内に埋め込むデバイスや生体情報を利用して医療記録を取得する手法は他社にはない独自性があります。

⑤経済価値：

このアイデアは医療現場での緊急事態において時間を節約し、正確な医療行動を促進するため、経済的な価値が高いと言えます。また、ブロックチェーン技術を用いた医療記録管理システムの導入により、データの信頼性が向上し、医療の質や効率を向上させることで、経済的な効果が期待されます。